

きずな

VOL.006

2013.10.15

☎ 300-3257

つくば市筑穂1丁目10番4号
(大穂庁舎2階)

電話 029-879-5199

FAX 029-879-5198

<http://www.tsukuba-sc.com>



発行
(公社)つくば市シルバー人材センター

編集 広報部会
企画



今年度の事業計画

一 経営改善について

- 予算管理の徹底
- 月次予算書の確認を行う。
- 事業部会へのサポート体制の確立



- 就業先ユーザーに、事業部会役員、事務局担当者の定期的訪問をサポートする。

二 リフレッシュ講習会

- (職種別に内容を吟味して行う事を検討する。)
- 会員の資質の向上 (接客・接遇の指導)
- 講話 高齢化社会に於いて「ゆとり」ある生活の在り方。

三 安全講習 (交通安全等)

- 長期就業者対策 (五年超え継続勤務者への対応)
- 長期就業者の後継者育成を行うため、業務内要を把握する。
- 長期就業対象者に対する説明会の開催。

四 安全対策

- 健康診断書の活用
- 就業面接時に使用
- 会員リストに健康診断書の提出有無欄を作成
- 安全就業の推進

五 シルバー人材センター組織の統廃合

- 部会・委員会等の見直しを行い、シンプル化を目指す。(中長期WGで検討)

六 ボランティア活動

- 地域密着型ボランティア活動の体制作りを行う。

七 中長期計画作成と周知徹底

- 三年後・五年後を見据えたシルバー人材センターのあり方と、会員のあり方についての方針を定める。

活動の中間報告

今年度は、二年目を迎えシルバー人材センターの経営が少し見えて来た為か、検討も活発化して参りました。今回も部会員が課題テーマに真摯に取り組み本題の施策についての進捗を列記します。

一 経営改善

遠藤、岡本、橋本役員が担当し、事務局に経営改善に必要な資料の提出を依頼しておりましたが、対応能力が遅く、資料提出がなく事務局長に今後、会計関係職員の選出を依頼し、直接内容を確認して行く事としました。

二 リフレッシュ講習会

十月度の部会で実施時期、内容について確定して行く考えです。また、会員の資質の向上に役立つものとして「例規集ダイジェスト版」を十月中に会員の皆様に配布する事となりました。

三 長期就業者対策

- 未着手です。

四 安全対策

- 健康診断書の提出の有無のリストを作成。未提出会員に対する対応方を検討している。

五 組織の統廃合

中長期計画策定の中で、将来を見据えた組織を構築して行くこととし、担当は、別所、太田、福田、東條役員で行う予定です。

六 ボランティア活動について

つくば市のシルバー人材センターは、六地区に分離され、それぞれの地区にて、地域に密着

した活動をしております。今回は、荖崎地区の小集団活動を形成し、地域社会の活性化を図ると共に、会員相互の連絡・支援の密度を高め、地域社会と一体化した貢献を目指した活動を推進して行きます。

七 中長期計画作成と周知徹底

中長期計画策定の作成については、ワーキンググループ(WG)を設置して、中長期計画骨子(案)を策定した。今後は、この策定に従って一項目ごと、シビアに、中身の濃い施策を創り、検討しながら粛々と取組んで参ります。

以上、項目毎に活動経過を記述して参りましたが、取組事項が多岐に亘るため、会議の在り方についても検討の必要があるのでは。また、月一回の開催では中身が濃く現状に即した施策を創ることが大変難しく、今後は集中的に施策作成を行う取り組みが必要と思えます。

事業部会

活動の中間報告

農業支援事業、農業サポーター活動

登録者は現在三四名、今後ますます農業サポーターの需要は拡大する事が予想されるので、多くの会員にサポーター登録を働きかけていく。

ハウスクリーニング事業

七月に一般家庭向けクリーニング講習会を二回開催。九月には、他のハウスクリーニング事業者との差別化を図るため、介護用・一般用・子供用のベッドマットレス等の「ダ

「二駆除」クリーニング講習会をデイケアセンター「さとのハウス」様のご協力を得て実施今後、就業に向けた活動を展開する。

自転車部の事業

九月一七日より九月三十日まで、会員一八名が参加し、専門の自転車屋による技術指導を毎日実施。十月下旬頃には、つくばの中心部にある消費者センター前にて、新しくスタートする予定。

今後は、今鹿島にあるシルバーセンター作業所を拠点にし、新たな出店先の確保に向けた事業を展開し、事業拡大を図る。農業支援事業、ハウスクリーニング事業、自転車部の事業は独自事業として、発展させていくため全力で取り組んでいく。

広報部会

今年度の事業計画

- ① センターPRとして、各地区及び自治会の回覧板を活用する。
- ② 『まつりつくば二〇一三』への参加。
- ③ ホームページをリニューアルする。
- ④ SC啓発月間（一〇月）にて役職員全員で普及啓発活動に取り組む。
- ⑤ 『ホームページ』や『広報つくば』等にて会員募集を行う。
- ⑥ 各（総務・事業・女性）部会との情報交換や事業計画の推進をする上でタイアップし、より一層宣伝効果が上がるよう努力する。
- ⑦ 『きずな』シルバーニュースを年四回（七月、一〇月、一月、四月）発行する。

部会活動報告（上半期分）

活動の中間報告

- ① センターPRとして、六月にパンフレットを各地区及び自治会に回覧しました。効果については、現在検証方法も含めて検証中です。
- ② 八月二四日、二五日の両日に『まつりつくば二〇一三』が行われ、当シルバー人材センターも協賛し広報活動の一環としてPR活動を行いました。課題として、準備段階でテント内のレイアウトやディスプレイの検討が十分に行われていなかったこと。アンケートが当センターの利用者向けであったために十分な効果が得られなかったこと。以上のことを踏まえ、来年に向けての反省会を開催する予定です。
- ③ ホームページの内容を一新し、九月に公開しました。就業情報、講習会のご案内等の会員向けのページを充実させました。また、新規入会希望者向けのページを新設し、入会希望者への利便性を図っています。
- ④ 一〇月中旬には、SC啓発月間にてTX駅周辺で広告・チラシ・ティッシュ等の配布を実施予定です。
- ⑤ 会員募集については『ホームページ』や『広報つくば』等にて行っております。
- ⑥ 各部会との情報交換は、広報部会合へ事業部会長や総務部会長の出席をお願いし、意見交換をしております。
- ⑦ 『きずな』シルバーニュースについては、印刷コストダウンを図りました。また、市内企業等に『きずな』の媒体を利用し、就業

活動も含めて宣伝に利用しています。最後に、広報部会として十分な効果が得られるような広報・宣伝活動を推進していきたいと考えております。

女性部会

今年度の事業計画

- ① 一般家事援助業務の推進
- ② まつりつくば等への参加（布草履の製作・販売）
- ③ 子育て支援事業の拡大

活動の中間報告

今年度は、部会で活動方針を企画し、成果を上げるべく一丸となって邁進して参りましたがシルバー人材センターとしての参画の道を探るのは大変難しいかと思えます。しかし、この事業の取組みは、永年の企画として参りましたので、そろそろ形として実現して参りたいと思っております。また、イニシアチブを取って頂ける部会員を求めて行きたい。

- ① については、新たな取組として、一般家事援助業務の推進、内容としては、高齢者一人暮らし・若い世代の家事援助を必要としている家庭等に的をしぼり、就業に際しては、二人一組にて行なって参りたいと考えております。



② 「まつりつくば二〇一三」は、部会員の協力のもと、一般会員の参加も戴き、和気藹々に見玉商品の布草履作成に励みました。猛暑のなか、八月二四・二五日フリーマーケット形式で、会員の皆様からご提供して頂いた品物を完売し、また多少では御座いました。手作り作品も販売いたしました。今後、趣味の領域のなかで、理解ある会員を呼び掛け作品づくりに、また会員間の友好の輪を広げながら粛々と進めて参りたいと考えております。

③ 子育て支援事業につきましては、独自事業として立ち上げる施策を検討して行くなかで、取組み方法・手段など真剣に話し合い、一定の方向を見出すことが出来、今後は実現に向け一歩一歩と進めて参りたい。

奮闘記

村上信義

つくば市夏の最大イベント「まつりつくば」は今年で三十回目を迎えることになりました。「まつりつくば二〇一三」は筑波研究学園都市五十周年記念行事として、連日の猛暑炎暑が続くなかの八月二十四(土)と二十五(日)の二日間にわたって開催され、シルバー人材センターも例年通りに広報活動の一環として参加を致しました。

「まつりつくば」は一九八一年(昭和五十六年)に筑波研究学園都市の新旧住民の交流の場をつくることを目的に開催されたことが始まりです。我々は、昨年参加時の反省点と、開催の目的を踏まえて「まつりつくば二〇一三」に臨みました。つくば市民の老若男女を問わず、特に、高齢者を支える若年層の方々にシルバー人材センターの活動を知らせて頂くことを主眼にして催し物を用意しました。イベント会場は昨年同様に中央公園ふれあい広場の一角で、シルバー人材センターのスポットは中央部に近い場所になり、今年も女性部会のご協力により小物と自主製作品の販売や、男性会員による刃物研ぎと、昨年の好評を博した網戸の張り替えや

補修等の実演を実施しながら、シルバー人材センターのチラシなど、アンケート調査による啓蒙活動を展開しました。ブース前後には各部会活動のパネル写真等を展示し、横のエリアには子供たちにも気軽に立ち寄って遊べるようなエリアを設けて、今回はシルバー人材センターの初の試みとして、水ヨーヨー釣りやスノーボール投げをして、ベビゴ遊遊びをセツトしました。この催し物が予想外の人気で大盛況となり、昨年にも増して大勢のお客様に来て頂きました。アンケート調査にも多くのご協力を頂いて、我々シルバー人材の目的や活動の一端を啓蒙できたのではないかと自負致しております。今年も猛暑が続く中で、ご支援とご協力を頂きました役員、会員、事務局職員の方々に心から感謝とお礼を申し上げます。



まつりつくばには毎年見に行つて楽しんでおりますが、今年はお祭り二日目に中央公園で行われている、シルバー人材センターの展示コーナーで、お手伝いをしました。テント内では刃物研ぎ、網戸張替の実演コーナーや、女性部会の草履他販売コーナー等が有りました。またシルバー人材センターの仕事内容紹介パネルや、アンケートに答えて頂くと、子供向けヨーヨー釣り、ボールすくいも有りとても人気でした。私も微力ながら、パンフレットの配布や呼び込みを行い、お客様に仕事内容の説明やら、ご家族で見えの子供たちと一緒に楽しめました。一日だけでしたが参画し、盛況のうちに終わる事が出来て良かったと思ひます。終了後にお一人の会員が見えて、なぜ三時で終了してしまったのか残念がられました。周りの各アクトコーナーでは、これからのパレードを見るため多くの方が見物に来るので、中央公園にも足を運ばれる人も期待できると考えているようでした。

まつりつくば
二〇一三に参加して

岡本 進

その後は、まつりつくばのパレードを見て満喫しました。シルバー人材センターの活動もアピール出来たと思ひます。

今年も賑やかに『まつりつくば』に参加

女性部会

今年、研究学園都市建設が決定してから五〇周年のメモリアル「まつりつくば二〇一三」ということで、私達女性部会一同、例年にまして準備し参加を致しました。女性部会というと女性だけで運営されていると思われがちですが、男性会員にも参画して戴き活動しています。そのため、考え方や行動にも広がりが出てよい効果がでていようと感じております。

今回も物販を通して、お客様との会話の中から「つくば市シルバー人材センター」の広報活動につながるよう手作りの品を多く用意しました。具体的には、恒例好評名ドレスタオルを始め、男性会員もお手伝い頂き浴衣地を使ったカラフルな布草履を準備し、祭り気分の中でお客様と楽しく会話をしながら販売「広報活動」にもつながりました。また、会員の皆様にご協力頂きました各種バザー品も好評のうちに販売を終了致しました。「まつりつくば」を通して会員同士のつながりがより深くなり、市民を初め訪れた方に多少なりともセンターの存在をお伝えできた事を参加者一同誇りに感じ、来年への思いをはせております。

暑い中、皆様の多大なご支援とご協力を戴き大変有り難うございました。

桜老人福祉センターへの思い

つくば市桜老人福祉センター

所長 植木好江



私は、この春市職員の定期異動により、当桜老人福祉センターへ勤務となり参りました。

つくば市には三箇所の老人福祉センターがあります。利用目的は、高齢者の方に健康の増進・教養の向上・レクリエーション等の場として、楽しく過ごして頂くための施設です。大広間を使つて自慢の喉を披露したり、洋・岩風呂にゆつたりとした気分で湯に浸かることができ、利用して下さる方にとっても喜んで頂いています。また、野外施設を使用して、ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しむこともできます。

私は、以前よりこの桜老人福祉センターに人一倍思いがありました。今は亡き「母」が楽しく利用させて頂いた所だったからです。シルバーク会で一日、歌や踊りしてお風呂で過ごし、とても楽しいと喜んで話してくれました。そんな思い出の施設で多くの方々を接し、コミュニケーションを取りながら、相互間での信頼の築き合いを大切に、市民の方々へのサービス事業を目的し、健康的に楽しいひと時を過ごして頂けるように、お手伝いをさせて頂く仕事に何れは就きたいと願っていました。そしてその思いが通つた日常の中、時折り「ふと、両親の面影をお客様に重ねて見入ってしまった」熱いものを感じることもあります。これからお一人々に親切丁寧な対応・一言のことばかけを忘れずに勤めたいと思います。現在、当老人福祉センターには三名の職員・シルバー人材センター会員三

名「休祝日・時間外施設管理業務と清掃員」一名で管理運営をしています。私たちは、常にお客様に心地よく・楽しく利用して頂けることを目標に、できる事は最善の努力を惜しまない気持ちで、毎日お迎えしています。どうぞ一度足をお運びください。

私は七月から老人福祉センターで休祝日に受付業務の仕事をしており、お年寄りの皆さんとお話をする機会ありますが、驚いたことは来所するお年寄りの皆さんがすごく元気なことです。カラオケ会では皆さんが大きな声で演歌などを上手に歌っており、その声には張りがあり、とても老人と思えないです。その中でも、八〇歳をかなり過ぎている男性など、若い頃に歌詞カードで覚えた歌を今でも画面を見ずに歌えるなどまだまだ



だしつかりし
の皆さんが
また、センター
有り、休祝

敬老の日雑感

日には一〇〇人以上の皆さんが入浴に訪れます。かなり御高齢の方から子供さんまで幅広い年代の皆さんが利用しています。お風呂上りの皆さんに共通している雰囲気は「今日の風呂は良かったな」と感じていることです。カラオケにしるお風呂にしる、老人パワーのすごさをまじまじと感じています。

私も来年は敬老の日の行事に参加できる年齢ですがお年寄りの皆さんからパワーをいただき大好きなゴルフを元気で八〇歳過ぎまでプレーを続けたいなと思う敬老の日でした。

太田 元

ハウスクリーニングに参加して

皆見 邦子



暦の上では秋となった九月、いつまでも残暑が厳しい時に、シルバー人材センターからハウスクリーニングへ参加しませんかとの声をかけられ、初のチャレンジで心配はありましたが参加する事にしました。

今回の現場は、つくば市にある四階建てマンションの「壁」、「階段のへり」、「入口のタイル」を清掃する事でした。作業は、シルバー人材センターのスケルトン隊の経験者の指示に従って、まず汚れた部分にスプレー式消臭液クリーナーを吹きかけ、ブラシで汚れを落とすした後雑巾で拭き取る。この繰り返しで、何度となくバケツの水を取り替えねばならず、ハウスクリーニングはこの身にバツチリと応える八時間でした。でも、仕事終えてほっと一息ついてから、作業したマンションを見上げると、マンション住人の喜ぶ笑顔が浮かび、従事したスタッフも無事に作業を終えた満足感から心地よい気分になった幸せな一日でした。何事もやってみるものですね、参加できて自信がつかれました、有り難うございました。

岩淵 三郎

九月五日より、農業サポーターとして、つくば市農業共同組合南部センターで就業しています。就業内容は色々ありまして、まずお米の集荷。これは農家に伺い、出荷用玄米をトラックに積み、センターまで運びます。一袋三十kg入りなので慣れるまで大変でしたが、職員の方二名と我々三名計五名でやるので思ったほど大変ではありません。又、モミの水分測定。これはモミを測定器に入れ、きれいにつぶして測定します。水分率一五%以下で合格です。一五%以上は再度乾燥させます。また、検査米の内容分析もやります。各農家さんの米袋に差し棒で無作為に一〇箇所差し込み、玄米をサンプリング（約二五〇g）し、分析器に入れ、タンパク量、アミノロス、食味値、整粒歩合等々の数値を調べます。全て初めての作業ですが、職員の方が丁寧に教えてくれました。又、九月一四日・一五日と新米フェアーがあり、我々にも新米で作った昼食弁当の差し入れがありました。この作業を通して、普段食べているお米ですが、なんとなく愛着が湧いてきます。

朝のパン食をこい
飯食に変えます。



自転車部会が活動スタート

シルバー人材センターの独自事業として、今年から新たにスタートさせる自転車事業。シルバー人材センターでは会報で会員の参加希望を募り、応募のあった方に対し、八月〜九月に二回のオリエンティングが行われ、一八名が九月一七日から九月末までの八日間の実地研修にスタートしました。

参加者の中には、自転車の分解には初めての人、すこしは経験がある人等様々ですが、研修では一八名を五班にわけ、自転車の構造をまず理解するため、保管されている自転車の中から修理後に使用できそうなものを選び、講師の指導を受けながら、各班では分解、清掃、修理等の組み立てを班員が協力し合いながら行いました。

研修場所では、自転車の工具や完成した自転車が盗難に合う等ハプニングがありましたが、研修前半の四日間で三〇台近い自転車を組み立てました。予定より作業進行が早いので、講師の先生もびっくりするぐらい順調なすべりだしです。しかし、お客様と実際現場に立つには一人立ちが必要で、参加した一八名は、この研修で各人が自分自身の技術レベルが理解できたと思いますので、更により高度の技術を身につけるべく、研修後一日でも早く現場で業務ができるよう日々研鑽し気持ちを引き締めています。

今回の研修に参加した方は、最初はたかが自転車と軽い気持ちを持っていたのでは？いざ分解してみると自転車が安全に配慮した様々な部品から構成されており、その不具合となつたものを完成品にする事で、お客様と自分自身も満足する事と思います。



平成二五年度第四回理事会 平成二五年七月(八日)(木)

議決事項

第1号 職員就業規則の一部改正

(実情にあつた形に勤務時間・休憩時間・休憩時間を改正)

(継続審議)

平成二五年度第五回理事会 平成二五年八月(五日)(木)

承認事項

承認事項(すべて可決)

第2号 入会審査会の変更(10月から荊崎・筑波・谷田部地区にて毎月第2金曜日に入会説明会と審査を同日に行う。利点は各地区の住民の利便性を図ること。また6か月間この方法を試して地域住民の要望等も伺うことが最大の変更理由です。)

平成二五年度第六回理事会 平成二五年九月(九日)(木)

承認事項

第1号 中长期事業計画(今後5年間の事業計画の目標の設定)

第2号 公用車の廃車(荊崎連絡所のトヨタカールデザイン)

第3号 公用車新規リースの契約について(トヨタアクア)

議決事項

第1回補正予算

(自転車部の移設費47万円と新規リース公用車の契約19万円の補正額が可決された。)

理事会開催報告

- 1 ランク審査委員会
- 5 広報部会編集会議
- 10 ランク審査委員会
- 13 新入会員説明会/三役会議
- 14 総務部会
- 20 入会審査会/理事会
- 23 桜地区懇談会
- 25 通常総会

6月

- 3 広報部会編集会議
- 8 就業開拓員会議/安全就業大会
- 10 中长期ワーキング
- 11 新入会員説明会/三役会議
- 12 総務部会
- 15 荊崎地区懇談会
- 18 入会審査会/理事会
- 19 派遣元責任者講習会
- 30 中长期ワーキング/広報部会

7月

事務局日誌

- 5 谷田部地区役員会議/事業部会
- 6 豊里地区役員会議
- 8 新入会員説明会/三役会議
- 12 広報部会/桜地区役員会議
- 13 荊崎地区役員会議
- 15 入会審査会/理事会
- 19 総務部会
- 20 安全委員会
- 21 大穂地区役員会議
- 24, 25 まつりつくば2013
- 26 自転車部希望者説明会
- 27 中长期ワーキング
- 30 荊崎地区懇談会

8月

平成二五年八月 入会

- 鈴木 早苗 谷田部
- 石川 敬一 谷田部
- 小杉 晴彦 谷田部
- 石塚 幸司 谷田部
- 秋野 挨子 荊崎
- 染谷 正美 荊崎
- 小幡 和弘 大穂
- 中泉 主税 桜
- 吉葉 秀芳 桜
- 北川 かず子 桜
- 渡辺 勝明 筑波
- 鮎川 知 筑波

平成二五年七月 入会

- 脇田 友義 豊里
- 田淵 孝雄 谷田部
- 平林 留蔵 谷田部
- 野澤 高明 谷田部
- 巴 久江 谷田部
- 加藤 健三 荊崎
- 又吉 修 荊崎
- 小澤 哲郎 荊崎
- 小谷 あさ子 荊崎

平成二五年八月 入会

- 岡田 正男 豊里
- 杉本 昭 谷田部
- 本橋 平八 桜
- 坂脇 正男 筑波
- 飯田 澄子 筑波

平成二五年九月 入会

- 植松 昇 谷田部
- 東郷 二郎 谷田部
- 飯田 和江 豊里
- 谷中 末美 谷田部
- 大野 喜久夫 荊崎

入会&退会

平成二五年六月 退会

- 宇津野 律子 谷田部
- 大山 てる子 谷田部
- 中 博史 荊崎
- 中瀬 進 荊崎
- 池田 一男 桜
- 高野 忠夫 荊崎
- 相山 晃 桜

平成二五年七月 退会

- 鈴木 忠雄 筑波
- 酒井 辰雄 谷田部
- 柚原 滋樹 谷田部
- 長尾 稔 桜
- 柴田 清美 桜

平成二五年九月 退会

- 羽富 一二 谷田部
- 半田 伸子 荊崎
- 糸賀 祥孝 谷田部
- 井上 久夫 荊崎
- 浜元 直 荊崎
- 大泉 源朗 荊崎
- 町田 廣志 谷田部



つくば市シルバー人材センターのホームページを一新しました。今回のリニューアルポイントは、会員向けのページをより充実させたことです。「会員の皆様へ」のページでは、「事務局だより」に掲載された（就業のご案内）のほか、新規就業情報を適宜掲載。また、「お知らせ・ご案内」ページでは講習会のご案内やボランティア活動、「あやめ会」からは各種同好会の情報を掲載していきます。

更に、新規入会希望者向けのページでは、入会説明・審査会の日時、会場までの案内図を掲載し、入会希望者への利便性を図っています。



その他のページでは、お客様や入会希望者向けに「センターについて」のページで理事長挨拶や基本理念、組織等の紹介をしています。今後は、更新を適宜行い更に見やすく充実したホームページに改善していきたいと思っております。このホームページについてご不明な点、ご意見、ご要望等ございましたら広報部会までお寄せください。

金丸 博文



電化製品・ガス機器・石油暖房機器・電気暖房機器・座褥子
 お買い上げ1点につき同等品1点を店舗にてお引き取り致します。
持ち込み引き取り無料
 ※テレビ・冷蔵庫(冷凍庫)・洗濯機・エアコン(クーラー)は有料となります。※石油暖房機器は灯油を抜いてお持ちください。

DCM HLDGS 大きな節約豊かな暮らし



つくば梅園店 (029) 839-0151

あさ9:30~よる8:00



つくば大穂店 (029) 864-7501

編集後記

今夏の記録的な高温や、少雨、多雨について気象庁は「異常気象」との見解を示しました。特に、七月から八月にかけて猛暑日が続き、高知県四万十市では国内史上最高の四十一度を記録し、これに伴い熱中症で救急搬送された人数も過去最高となり、中でも高齢者の割合が多く全体の四十五%を占めました。熱中症とは暑熱環境で発生する障害の総称ですが、中で最も重いのが熱射病でこれは死亡事故につながります。

我々、シルバー人材センターの就業場所の多くは屋外作業です。直接太陽光を浴びる事もあり、適切な予防措置を講じて作業するようにしましょう。屋内に居ても熱中症になることがあります。高齢者の熱中症予防は「かくれ脱水」対策です。暑いときには、こまめに水分を補給して、汗から失われる塩分の補充も心がけましょう。健康管理は自己管理と申します。決して無理をせずに、体調に合わせ行動しましょう。

村上信義

